

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	基礎構造系振動小委員会		主 査 名：飯場正紀 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：福和伸夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・動的相互作用の観点から建物への入力地震動を的確に捉えるための検討を行うとともに、建築物の地震時応答をよりの確に把握するために地盤震動・動的相互作用の研究を行い、耐震設計の合理化を目指します。 ・初年度・2 年度：入力地震動に影響を及ぼす要因の検討を行うとともに、建物への入力地震動の性状を明確にする。また、相互作用ばね、減衰定数の簡易評価および応答評価の簡易法の充実を図る。3・4 年度：非線形相互作用を考慮し、建築物の応答について検討を加える。 ・2 年度には、大会 PD、2・3 年度には、ワークショップを、さらに4 年度には相互作用シンポジウムを開催する予定である。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：飯場正紀(建築研究所) 幹事：田守伸一郎(信州大)、護雅史(名古屋大) 委員：新井洋(建築研究所)、泉洋輔(呉高専)、木村匠(清水建設)、酒向裕司(鹿島建設)、田村修次(京都大)、中井正一(千葉大)、永野正行(東京理科大)、藤森健史(大林組)、船原英樹(大成建設)、宮本裕司(大阪大)、柳下文雄(東電設計)、吉澤睦博(竹中工務店)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	390,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. ワークショップ「建物と地盤の動的相互作用の簡易計算法」【大阪開催】 『同名資料』 参加者数 37 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. ワークショップ開催は、当初の目標を達した。昨年度の東京開催に続いて、大阪で開催し、参加者の数も40名であり、会員の関心の高さが確認された。 2. 2011年東北地方太平洋沖地震における地盤や建築物の地震観測結果等に基づく現象解明に向けて検討を行っているが、まだ十分に成果が上がっていない。
委員会活動の問題点 ・課題	1. ワークショップの資料や説明の内容には、会員が容易に理解できるまで、分かりやすくなっていない部分もあり、今後見直す必要がある。 2. 各委員が、2011年東北地方太平洋沖地震における地盤や建築物の挙動解明に向けて情報収集を行ったが、情報収集項目や検討項目等があまり明確でなかった事もあり、成果を集約できなかった。次年度も続けて検討を行う予定である。